

# 若者と福山をつなぐ キャリア共創プロジェクト

若者と企業の対話が、挑戦につながる。  
その仕組みを福山からつくります。



**S-colle** (エスカレ)  
大学生コミュニティ



**ミラスタ**  
学生と企業を繋ぐプラットフォーム

若者	キャリア教育と地域プロジェクトを
企業	つなぎ、体験を通じてミライをつくる
地域	仕組みをつくります

## 1 | 取り組みの背景・課題

### 若者の転出超過・接点の断絶



大学等の進学を機に  
福山を離れる



地元企業を知らない  
地域との接点なくなる



就職の選択肢から  
福山が消える

「知らないから選べない」  
この構造的な課題を解決します。

## 2 | 事業の二本柱

### S-colle (エスカレ)

大学生が主体で企画運営するコミュニティ



**若者が主語**  
大学生が企画・運営



**フェアな対話**  
就活だけじゃない出会いの場



**地域とつながる**  
企業と対話し、視野が広がる

イベント・対話の場を  
継続して年間 **5** 回開催

### ミラスタプラットフォーム

経験を可視化し、つながりを  
蓄積するWebサービス



**経験の記録**  
イベントや挑戦を記録



**経験の蓄積**  
振り返りがミライの選択に



**つながりが続く**  
福山を離れても接点が残る

つながりや経験を蓄積し、  
ミライへ繋げる仕組みへ

## 3 | 目指すミライ

離れても、残っても、戻っても。  
遠くから思う人も一緒に。



寄付募集額

**398** 万円

若者と福山のつながりが、挑戦とミライを生み出す。  
このプロジェクトへのご支援をよろしくお願ひします。



## 事業計画書

1 事業の名称	若者と福山をつなぐキャリア共創プログラム
2 事業の内容	<p>若者と企業の相互理解を深め、挑戦する若者を増やし、その経験を地域の未来につなげる仕組みをつくる事業です。以下の二本柱で構成します。</p> <p><b>【大学生コミュニティ「S-colle（エスカレ）」の運営】</b>          大学進学後に福山との接点が断たれる「断絶問題」を解消するため、大学生が主体となり、学校や世代を超えてつながるコミュニティを運営します。本年度は年 5 回のイベントを実施します。大学生が企画・運営するキャリア対話イベント「福山しごとーク」では、参加者の 92%が新たな気づきを得たと回答。「ホンネのカイギ」では全国の大学生が就活や仕事に対するリアルな声を企業に直接届け、企業も若者の価値観を知る機会になっています。本年度は人数を目標に掲げるのではなく、「大学生が福山とつながる仕組み」として機能するかどうかを 1 年間かけて検証します。参加対象は学生・企業ともに幅広く募り、公益性を確保します。</p> <p><b>【ミラスタ：経験を可視化する仕組みの構築】</b>          若者の経験や挑戦を記録し、振り返り、未来の選択につなげる Web プラットフォーム「ミラスタ」を設計・開発します。学校の成績や資格だけでは見えない経験を可視化し、若者自身も企業も地域もその可能性に気づける仕組みを目指します。株式会社エンネに委託し、3 フェーズで段階的に開発。Phase1（MVP）：メールアドレス認証・学生ポートフォリオ・チェックイン・活動証明書。Phase2：企業ページ・管理画面・匿名 Q&amp;A。Phase3：AI によるデータ活用・マッチング機能。</p>
3 事業実施による公益的な効果	<p>① 若年層の転出超過の緩和：大学生が在学中から福山の企業や地域と接点を持つことで、就職時の選択肢に福山が入る構造をつくります。</p> <p>② 地域産業全体の若者接点の拡大：特定企業のためではなく、福山市の産業全体に若い人材が触れる機会を広げます。参加企業を幅広く募ることで公益性を確保します。</p> <p>③ 属人的な活動から持続可能な仕組みへ：12 年間の実績を、担い手が変わっても続く基盤として福山に残します。</p> <p>④ 若者の経験の可視化：活動記録がデジタルで蓄積・証明</p>

	<p>されることで、AO 入試や就職活動に活用でき、学生にとって具体的な価値を生みます。</p>
4 対象者、人数、規模等	<p>【S-colle】福山市内の大学に通う学生、県外に進学した福山出身の大学生、市外から福山の大学に来ている学生。企業は業種・規模を問わず幅広く参加を募ります。年 5 回のイベントを通じて仮説検証を行います。</p> <p>【ミラスト】初年度の登録者数として学生 100 名、企業 5 社を目標。2 年目以降は中高生向けプログラム（年間 1,000 名以上が利用）からの移行も視野に入れていきます。</p>
5 スケジュールと内容	<p>2026 年 5 月：第 1 回 S-colle「福山しごトーク Vol.1」開催（済） / ミラスト Phase1 MVP 開発着手</p> <p>2026 年 7 月：Phase1 完成（認証・プロフィール・コメント機能） / Phase2 開発着手 / 企業・学生実態調査</p> <p>2026 年 7 月：第 2 回 S-colle「ホンネのカイギ Vol.1」開催 / 第 3 回 S-colle「福山しごトーク Vol.2」開催</p> <p>2026 年 8 月：福山フェス（500 人規模）でミラスト導入テスト</p> <p>2026 年 9 月：第 4 回 S-colle「ホンネのカイギ Vol.2」開催 / 第 5 回 S-colle「福山しごトーク Vol.3」開催</p> <p>2026 年 10 月：Phase2 完成（企業ページ・管理画面・匿名 Q&amp;A） / Phase3 AI 機能開発着手</p> <p>2026 年 10-12 月：運用改善・掲載企業追加 / 利用データ分析 / 保守運用フェーズ</p> <p>2027 年 1-3 月：年度総括 / 仮説検証の結果整理 / 次年度計画策定 / 成果報告書提出 / Phase3 完成（AI 機能）</p>
6 翌年度以降の事業計画	<p>本事業は単年度で完結するものではなく、継続的な運営を前提としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S-colle：1 年目にコミュニティを引き継ぎ可能な後継者を育成。2 年目以降は学生主体の運営体制へ移行。初年度の仮説検証の結果を踏まえ、イベント設計や集客方法を改善します。</li> <li>・ ミラスト：初年度の開発・テスト運用を経て、2 年目以降はランニングコスト（月額数万円程度）のみで運用可能。参画企業からの参画費用を原資とする自走モデルを構築予定。</li> <li>・ 企業版ふるさと納税は初年度の基盤構築に活用し、2 年目以降は自己資金での運営を目指します。</li> </ul>